

## ゆい はま 由比ガ浜地下駐車場整備事業

受賞機関 神奈川県藤沢土木事務所

### はじめに

鎌倉市域は、日本を代表する観光地であるとともに、東京都や横浜・川崎などの政令市と近接しており、年間を通じて観光目的の車両が多く、また、違法駐車も著しく多い地域である。このため、由比ガ浜地下駐車場は、違法駐車車両を減少させ、交通渋滞及び交通事故を減らすとともに、中心市街地への流入車両を抑制して、沿道環境の向上に役立つよう、市街地周辺部に当たる由比ガ浜の国道134号地下に建設したものである。この地下駐車場は、道路管理者が建設する「道路附属物」であるが、駐車場上部は鎌倉市が管理する公園であり、これと一体的な整備を図ることにより、複合的な機能を呈す古都鎌倉にふさわし施設であると考えている。

### 事業概要

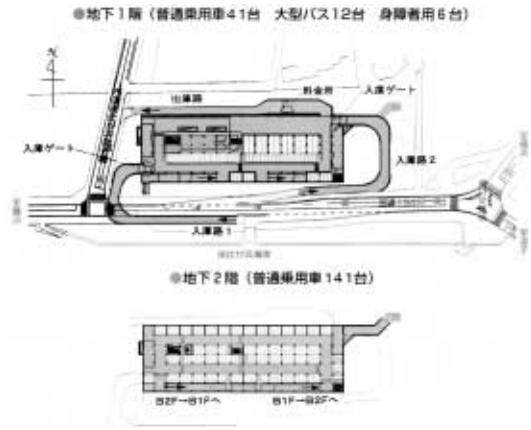
- 路線名：一般国道134号
- 駐車場名：由比ガ浜地下駐車場
- 事業期間：平成5年度～平成13年度
- 事業費：約8,200百万円
- 敷地面積：約14,900㎡
- 規模：自走式駐車場（地下2階建）
- 延床面積：13,990㎡

### 事業の特徴

この地下駐車場は、観光地に立地するため、B1階は大型バスが利用できるように車路は4mを越える有効高さを確保し、バス乗降客等の利用者には場内で休憩ができるよう待合ホールを設置した。B2階は普通車専用で、B1階とB2階あわせて200台収



地下駐車場の全容  
(休日にはバスとのセット料金の設定もあり利用促進に努めている)



観光地としての景観に配慮し、高さなど押えた構造

容の自走式駐車場となっている。

大型車が利用できる地下駐車場は全国でも初めての試みであり、これは観光地鎌倉の駐車需要の特性を考慮した結果である。

土木建築工事については、上部の公園を閉鎖して、オープンで掘削し、躯体の建設には鉄筋や型枠のプレキャスト化を積極的に導入して工期の短縮化を図った。工事上の大きな課題は、大量の発生土砂の処理であったが、関係機関の協力により、海岸の養浜材など他工事に活用し、また、埋戻し用土砂は、仮置き場を確保するとともに、不足分は他工事の発生土砂を受入れて対応した。

本駐車場の開業により、周辺地域の違法路上駐車が少なくなり、交通事故の減少につながって、地域振興にも大きく役立っている。

受賞賛助会員 大成建設株